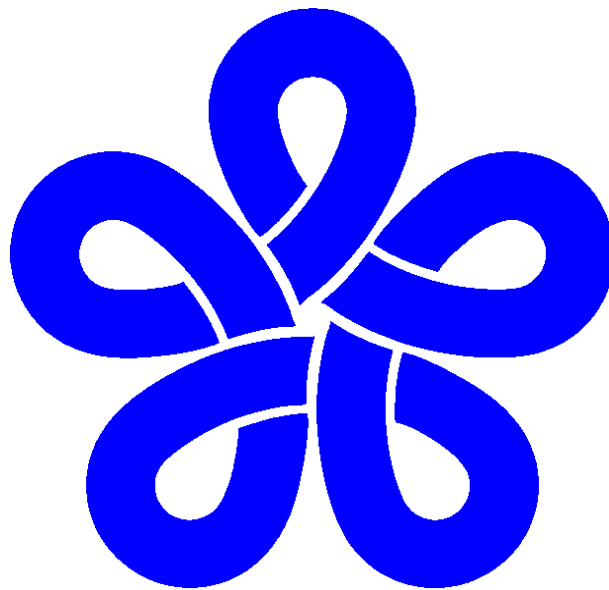


令和6年5月
福岡県・ハワイ州友好促進訪問団
報 告 書



令和6年5月9日～12日

福岡県議会

福岡県・ハワイ州友好促進訪問団について

1 概要

福岡県とハワイ州は 1981 年に姉妹提携宣言、福岡県議会とハワイ州議会は 1982 年に国際友好親善促進の盟約締結以来、40 年以上の長きにわたり様々な分野で互いに交流を重ね、強固な信頼関係を築いてきた。

今回、福岡県とハワイ州の間で、ワンヘルス(※)の概念を認識し、ワンヘルスの推進について重要性を共有するとともに、互いに一体となって取り組むことの必要性を確認したうえで、ワンヘルス分野での交流に係る覚書を締結する旨の共同宣言を行うため、福岡県知事からの参加要請に基づき、ハワイ州を訪問した。

共同宣言を行うにあたり、ハワイ州知事との会談前日にハワイ州議会を表敬訪問し、共同宣言への立ち合いを要請した。(福岡県議会とハワイ州議会は 2023 年 4 月にワンヘルスを軸とした新たな交流の推進に向けた盟約を確認済。)

また、福岡県内の学生のワンヘルス教育についてハワイ大学と協議を行うとともに、ハワイ福岡県人会との交流会を実施、さらに、在ホノルル日本国総領事を表敬訪問し福岡県とハワイ州の交流促進について意見交換を行った。

※ワンヘルスとは

ワンヘルスとは、人の健康、動物の健康、環境の健全化を一体的なものとして捉え、医療、獣医療、環境、農薬、教育など幅広い分野が連携して課題解決に取り組む考え方。

新型コロナウイルス感染症は、感染症が一国の問題にとどまらず、社会経済、教育、観光、国際交流などあらゆる分野に大きな影響を及ぼすことを世界に示した。コロナ後においても、新興感染症や人獣共通感染症への備えは、日本のみならず世界各国が引き続き取り組むべき重要課題である。

その備えを進めるうえで重要となるのが、ワンヘルスの視点であり、人の健康を守るだけでなく、動物、自然環境、食、気候変動、地域社会との関係を含めて総合的に考えていくことが、次の感染症危機への備えとなる。

2 期間

令和6年5月9日（木）～12日（日）

3 訪問団

服部誠太郎 福岡県知事

香原 勝司 福岡県議会議長

秋田 章二 自由民主党福岡県議団会長代理

原中 誠志 民主県政クラブ県議団会長代理

大塚 勝利 公明党福岡県議団団長代理

桜島 徳博 新政会福岡県議団会長

同行（随行） 国際局長ほか3名、秘書室1名、ワンヘルス推進課1名、
議会事務局次長ほか1名

4 行事概要

【5月9日（木）】

ハワイ州議会上院・下院表敬訪問（14：00～）

【訪問先概要】

ハワイ州議会は、下院：51 議席、上院：25 議席両院制です。

州議会には、ハワイ諸島全域の単一選挙区から選出された議員が計 76 名所属されています。なお、議場はオアフ島ホノルル市にある「ハワイ州議会議事堂」。

ハワイ州議会の前身は、1840 年の「ハワイ王国憲法」で創設。その後、1894 年のハワイ王国の崩壊、ハワイ共和国の立法機関を経て、1898 年にアメリカ合衆国に併合。ハワイ準州の立法機関を経て、1959 年にアメリカ合衆国 50 番目の州として正式に加盟。それに伴い、米国議会が「ハワイ州承認法」を可決したことによってハワイ州議会が設立された。

この時（1959 年 8 月 21 日）、ハワイ州選出の連邦上院議員になったのがダニエル・K・イノウエ上院議員。

【視察内容】

ハワイ州議会上院・下院を表敬訪問し、上院からは代表してクリス・リー議員、下院からはバートランド・コバヤシ議員、ネイディーン・ナカムラ議員、アンドリュー・ギャロット議員、マーク・ハシヤム議員、ジャクソン・サヤマ議員に迎えていただいた。

クリス・リー議員から「私たちは、大変長い歴史を持つ友好関係を続けている。協力・相互理解という点で素晴らしい関係を築いており、これからより濃く様々な事に取り組んでいけると思っています。私たちも是非、日本で福岡を訪問させていただき、色々な新しい活動に協力し合える事を期待しています。」と挨拶をいただいた。

バートランド・コバヤシ議員からは「福岡は、ハワイが姉妹関係を結んでいるたくさんの都道府県や都市の中で一番深い繋がりを持っています。今度、福岡とハワイでの色々な同意を交わすことによって、より活発な友好関係を結んでいきたいと思います。文書による同意書を交わすことによって、私たちハワイ側としても、一体どういう事を優先してやっていかなければならないのか明確になり、それをきちんと組織だって作っていける目安になると思います。」と挨拶をいただいた。

また、バートランド・コバヤシ議員は、4 月に八女市にダニエルイノウエミュージアムが開館したことを大変喜ばれ、今期での議員引退を表明していることについて、「私が去ったあと、ここにいる日本語が分かる議員の中の誰か一人が私の役割を引き継いでくれることを期待しています。福岡に先祖を持っている議員もいますので、ご安心ください。」と心強い言葉をいただいた。

香原議長は、コバヤシ議員の長年のご尽力に対して深く敬意を表するとともに、「県議会の先輩方が、1982年から41年という長い年月ハワイとの友好関係をつくっていただきましたので、我々もしっかりとこれからも引き継いで次のステージに上げていかなくてはならないと思っています。福岡とハワイの新たな架け橋というのがワンヘルスの推進だと思っています。医療や保健、衛生、そして次を担う子供たち、青少年の交流もワンヘルスの推進で繋いでまいりたいと思いますので、ハワイ州議会の皆様のご理解とお力添えをお願いします。」と挨拶し、翌日のハワイ州と福岡県の共同宣言への州議会の立ち合いについて、理解と協力をお願いした。

○クリス・リー上院議員略歴

- ハワイ州上院議員（2008年-現在）
- 全米環境議員連盟 副会長（2016年-現在）
- 銃暴力防止のための米国州議会議員（2015年-現在）
- レッドヒル燃料貯蔵施設タスクフォース（2014-2019年）
- ハワイ外来生物協議会（2014-2018年）

○バートランド・コバヤシ下院議員略歴

- 1978年～82年 ハワイ州議会下院議員
- 1982年～94年 同 上院議員
- 2008年～13年 ハワイ福岡県人会会長
- 2012年～現在 ハワイ州議会下院議員

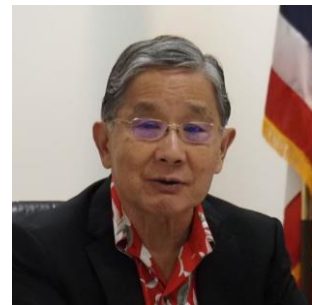
約28年間に渡りハワイ州議会で議員を務めるとともに、ハワイと日本の国際交流や協力の推進に取り組む。



（香原議長挨拶）



（クリス・リー上院議員挨拶）



（コバヤシ下院議員挨拶）



(表敬の様子)



(集合写真)



(記念品の贈呈)

ハワイ大学との協議（17：30～）

【訪問先概要】

「ハワイ大学」は、ハワイ州ホノルル市に本部がある米国のハワイ州立大学で、1907年に創立され、来年、創立120周年を迎える伝統校。

大学の学部・分野のうち、特に、熱帯農業、熱帯医学、海洋学、天文学、電気工学、火山学、進化生物学、比較哲学、比較宗教、ハワイ研究、アジア研究、太平洋諸島研究、アジア太平洋地域公衆衛生の分野に強みをもち、その研究成果は世界的な評価が高く、世界から優秀な学生が集まっている。

同大学の本部がある「ハワイ大学マノア校」は、世界約130の国と地域より約19,000名の学生が学んでいる。

この「マノア」という名前は、ハワイ語で「深い」「広い」という意味です。オアフ島のコアラウ山脈の南東部から南へ広がるタンタラスの谷間に位置しており、乾季でも雨が多く、美しい水が豊富にあることでも知られ、虹の町としても有名な土地。

古来より、マノアの渓谷には神々が宿り、風の神と雨の神が生まれた場所とい伝えられており、ハワイの人々にとって神聖な地で、いわゆる、ハワイの国造り神話の地。

この地に大学を創設するにあたり、大学の理念として、マノアの自然と神話や伝統を尊重し、人と自然との調和、自然環境保護をはじめ、火山等の地球科学、海洋学、天文学といったハワイの特色、マノアの特色を生かした分野の研究に力を注いできた。

そのことが、福岡県が推進する「ワンヘルス」の理念と合致したということで、ワンヘルス学をいち早く取り入れられました。ハワイ大学とワンヘルスで結びついたのは、必然であったと思われる。

なお、ハワイ大学マノア校の大学院に留学する日本人を対象とする「皇太子明仁親王奨学金」があります。皇太子明仁親王（現在の上皇）のご成婚とハワイ訪問を記念し、1960（昭和35）年、ハワイ在住の日系人やホノルル商工会議所、日本国内の経済界の協力によって創設されたものです。同奨学金は、日本とハワイの大学院生を互いに派遣する事業を通じて、わが国と米国との相互理解、友好親善関係を推進することを目的としている。



【視察内容】

本県では、すでにハワイ大学との間に「ワンヘルス推進に関する覚書」を締結し(※)、県内大学におけるワンヘルス教育プログラムの導入や、県内高校生によるハワイ大学での短期留学研修(人材育成プロジェクト)など、教育分野での交流を進めている。今回の訪問では、こうした取組を教育機関同士の連携にとどめず、福岡県とハワイ州の行政間の連携へと発展させることを目指した。

香原議長及び秋田自民党県議団会長代理が、ハワイ大学のサンドラ・チャン教授及び町淳二教授と福岡県内の学生のワンヘルス教育に関する協議を行った。

昨年度、福岡県内の高校生がハワイでの短期留学研修(人材育成プロジェクト)に参加した際、プログラムのひとつとして、サンドラ教授のご協力により、ハワイ大学でワンヘルスに関する特別講義を受講させていただいている。

今年10月には、サンドラ教授に福岡県で県内の高校生・大学生にワンヘルスの講演を行っていただくため、日程、講演内容等について協議を行った。

サンドラ教授からは、福岡にはハワイからワンヘルスを勉強している大学院生を同行させ、日本の学生とディスカッションなど学生同士の交流についてのご提案いただいた。

また、香原議長及び秋田自民党県議団会長代理から、今年度も12月に短期留学研修に参加予定の学生に対して、昨年と同様にハワイ大学でワンヘルスの特別講義の実施についてご協力を依頼し、サンドラ教授と町教授からも承諾をいただいた。

※令和5年4月、本県とハワイ大学との間でワンヘルス推進に関する覚書を締結。九州大学をはじめ県内の11の大学関係者が立ち合った。

- ・ 福岡県が実施する「『福岡から世界へ』人材育成プロジェクト」において、県内の高校生がハワイ大学を訪問し、ワンヘルスに関する特別講義を受講
- ・ 県内大学等とハワイ大学との間で共同研究や学術交流のネットワーク構築が進められている。
- ・ 普及啓発イベントの実施日米姉妹都市サミットなどの国際的な場において、ワンヘルスの理念を世界に向けて発信
- ・ ワンヘルス関連施設の視察



○サンドラ・チャン教授略歴

- 1973 年：ハワイ大学マノア校 学士 生物学
- 1977 年：ハワイ大学マノア校 修士 微生物学
- 1983 年：オレゴン健康科学大学 博士 微生物学及び免疫学
- 1983-1986 年：カリフォルニア工科大学博士研究委員 分子免疫学

○町淳二教授略歴

- 1977 年 順天堂大学医学部卒業（1972 年米国留学）
- 1977 年 沖縄県立中部病院卒後研修（インターン、外科レジデント）
- 1981 年 イリノイ大学病理、外科 リサーチフェロー
- 1985 年 久留米大学第一外科 助手
- 1987 年 ペンシルバニア医科大学外科 研究講師(Assistant Professor)、
- 1993 年 ピッツバーグマーシー病院外科 レジデント
- 1995 年 ハワイ大学外科 準教授 (Associate Professor)
- 1998 年 米国外科専門認定医
- 2001 年 ハワイ大学外科 教授 (Professor)
- 2008 年 野口医学研究所 理事長（野口研修プログラム NKP 創立）
- 2012 年 東京ベイ・浦安市川医療センター NKP 研修委員長
- 2014 年 ハワイ大学医学部 Office of Global Health/Medicine Assistant
Director
- 2016 年 HMEP（ハワイ医学教育プログラム）開始・責任者

ハワイ福岡県人会との意見交換会（18：30～）

【ハワイ福岡県人会概要】

1868 年日本人最初の海外移住（ホノルル港）

1885 年福岡県人の最初の海外移住（1894 年まで約 29,000 人が来布）

1957 年県人会設立

1981 年福岡県・ハワイ州姉妹提携

1985 年官約移民 100 周年記念式典

2017 年ハワイ福岡県人会 60 周年記念式典

【日米友好の懸け橋となっている福岡県人会】

明治政府とハワイ王国の間で締結された「移民協定」によりハワイに渡った「官移民」129 人が、福岡県の移住の歴史の始まりで、福岡県民が初めて海外に移住したのは 1885（明治 18）年 6 月のことです。

移住された人々は、言語の違い、慣れない気候、風土の違いなど、幾何の苦勞に耐え、サトウキビ農園やコーヒー農園の労働者として働き、そして自ら開墾に励んで農園主として社会的地歩を固めてこられました。

2 世の世代になると、農園以外にも会社経営、検事や弁護士といった法職、技師や医師といった専門職に就く方々も増え、ハワイ州において社会進出を果たしました。

そして、ハワイに移住した福岡県出身の方々によって「ハワイ福岡県人会」（1957 年）、「コナ福岡県人会」（1967 年）、「ハワイ島福岡県人会」（1967 年）、「カウアイ福岡県人会」（1985 年）が次々に設立され、同胞の人たちの友好と交流、相互扶助、社会・文化活動に務められています。

【懇親会内容】

ハワイ福岡県人会の会長をはじめとする県人会会員の方々と意見交換会を行った。

香原議長は、日ごろから福岡県とハワイ州の学生同士の交流などを陰ながら支えていただいていることに対し感謝の意を述べるとともに、「41 年の交流関係の中で、我々はステップアップのために、明日、服部知事とグリーン知事が新しくワンヘルスの推進という共同宣言を出すことになっています。医療や教育などの分野で新しいステージを作り上げていきたいと思っています。福岡県とハワイ州、そして福岡県議会とハワイ州議会の交流のスタート原点がこの福岡県人会であるため、今後の引き続きのご理解とご支援を心よりお願いします。」と挨拶した。

県人会役員からは、「ワンヘルスは、人と動物の健康と環境との総合関連の複数の社会分野において協力を推進するというアプローチです。福岡県とハワイ

州の協力による、ワンヘルスの推進活動が素晴らしい成果をもたらすことを期待します。」と挨拶をいただき、さらに、県人会の活動として、3月にホノルルフェスティバルに参加し、福岡県と県人会のプロモーションを行った旨の報告をしていただいた。

また、意見交換会には、ハワイ大学のサンドラ・チャン教授と町淳二教授も参加していただき、お二人は県人会会員の方々と交流が行われた。

懇談を通じて、福岡県出身者・日系の皆様が、長年にわたりハワイ社会で信頼を築き、両地域の交流を支えてこられたことを改めて認識した。県人会は、単なる親睦団体にとどまらず、福岡県とハワイを繋ぐ貴重な人的ネットワークであり、今後の青少年交流、経済交流、文化交流を進めるうえで大きな力となることを感じた。



(香原議長挨拶)



(会長挨拶)



(意見交換会の様子)

○会長略歴

- ・2004年よりハワイ福岡県人会のメンバーとして、理事、会計補佐、会計、副会長 など様々な役職を歴任
- ・2022年9月よりポストコロナ時代に向けて県人会を立て直すため会長に就任
- ・ご先祖は福岡県久留米市出身で、日系3世



(ハワイ県人会の方々と記念撮影)

【5月10日（金）】

国立太平洋記念墓地献花（10：30～）

【訪問先概要】

「パンチボウル」と呼ばれる国立太平洋記念墓地は、ホノルル市の北側の山手、7万5千～10万年前に形成されたとされるクレーターの中にあり、ワシントンDCにある「アーリントン国立墓地」と並んで、アメリカ合衆国を代表する2大国立記念墓地のひとつ。

「パンチボウル」とは、周知のように山の形がパンチ（フルーツパンチなど飲物）の容器を逆さにした姿に似ているため付いたもの。

第一次世界大戦や第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争の戦没者とその家族らが眠る。ハワイ語では「プオヴァエナ」と呼ばれ、これは「生け贄の丘」を意味する。中央の高台には、嘆き悲しむ母を象徴する30フィートの「レディ・コロンビア」像があり、その後ろには第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争など20世紀の戦争犠牲者を追悼する礼拝堂とともに、太平洋戦争・朝鮮戦争・ベトナム戦争の戦況図を描いた地図ギャラリー「ホノルル・メモリアル」がある。

休日には、墓に花を供えて、近くでくつろぐ人々の姿が多く見かけられ、5月の「メモリアルデー」と11月の「ベテランズデー」と呼ばれる退役軍人を称える日には、それぞれの墓に小さな米国旗が飾られ、一年の内で一番美しいパンチボウルの光景が見られる。

パンチボウルには軍人だけでなく、アメリカ初の日系人議員を務めたダニエル・イノウエ氏、1986年にスペースシャトル「チャレンジャー」号の事故で亡くなった宇宙飛行士のエリソン・オニヅカ氏といった福岡県にゆかりのある方々も埋葬されている。



【内容】

中央祭壇に香原議長が代表して献花し、各自が花を一輪ずつ献花を行った。

また、ダニエル・K・イノウエ氏のお墓には梶島会長代理が献花、エリソン・オニヅカ氏のお墓に大塚会長代理が献花を行い、全員でご冥福をお祈りした。



(中央祭壇での献花)



(エリソン・オニヅカ氏のお墓に献花)



(ダニエル・K・イノウエ氏のお墓に献花)



ハワイ州知事との会談（13：45～）

1月に福岡県議会ハワイ州議会友好訪問団がジョシュ・グリーン州知事を表敬訪問し、福岡県とハワイ州が協力してワンヘルスの推進に取り組んでいくための覚書の締結について協議を行った。

これに伴い、今回、福岡県とハワイ州でワンヘルスの推進に関する覚書の締結に向けた具体的な協議と共同宣言を行うため、服部知事とともにグリーン知事を訪問した。

グリーン知事からは「ハワイ州と福岡県の関係は最も古く大切なものです。ハワイ州はこれからもワンヘルスという理念を推進し、合意をすることで確認していきたい。9月もしくは11月に福岡に行くかもしれないため、それまでに覚書を完成できればと思っています。」と挨拶された。

服部知事は、グリーン知事が非常に真摯にワンヘルスの推進を考えられていることに深く敬意を表し、「ハワイ州と福岡県の新たな連携のテーマとして、ワンヘルスの推進はふさわしいものと考えます。ハワイ大学と福岡県のMOUの締結からちょうど一年が経過し、幅広い分野でワンヘルスの推進をしていくためには、ハワイ州と福岡県、両行政間で取り組むことが非常に重要で必要です。両県州、そして福岡県議会でワンヘルスの推進のための共同宣言を発出することができることを大変喜ばしく思います。」と挨拶した。

香原議長は、「両知事の会談に立ち会わせていただくことを大変光栄に思います。共同宣言を出していただけると聞いていますので、ワンヘルスの推進で福岡とハワイそして福岡県議会とハワイ州議会の新たな関係が強いものとなって、これからもまた次の世代にしっかりと渡していけるように頑張っていきたい。」と挨拶した。

会談では、福岡県とハワイ州の協力によるワンヘルスの推進の重要性を共有し、関係部局が一体となって横断的に取り組むことの必要性を確認した上で、取組を進めていくための覚書を年内中に締結することで合意した。そして、合意、確認した事項を共同宣言として取りまとめ、ハワイ州議会の代表者立ち合いのもと、両知事及び香原議長の三者で署名を行った。

また、香原議長はグリーン知事に、1月の表敬訪問時に同席された、日本獣医師会長でアジア獣医師会連合会長の藏内勇夫県議が、世界獣医師会次期会長選挙で当選された事を報告し、服部知事からは「当選された最大の理由は藏内さんがワンヘルスに取り組んでいることが評価をされたのだと思う。このように獣医師や医師など専門家の方にはワンヘルスの認識が高くなっているが、やはり一般の国民の方々にはまだワンヘルスはよく理解されていない。福岡県とハワイ州が共同宣言を出して、これから具体的に取組を進めていくということは非常に意味のあることだと思う。」と述べた。グリーン知事は藏内会長の当

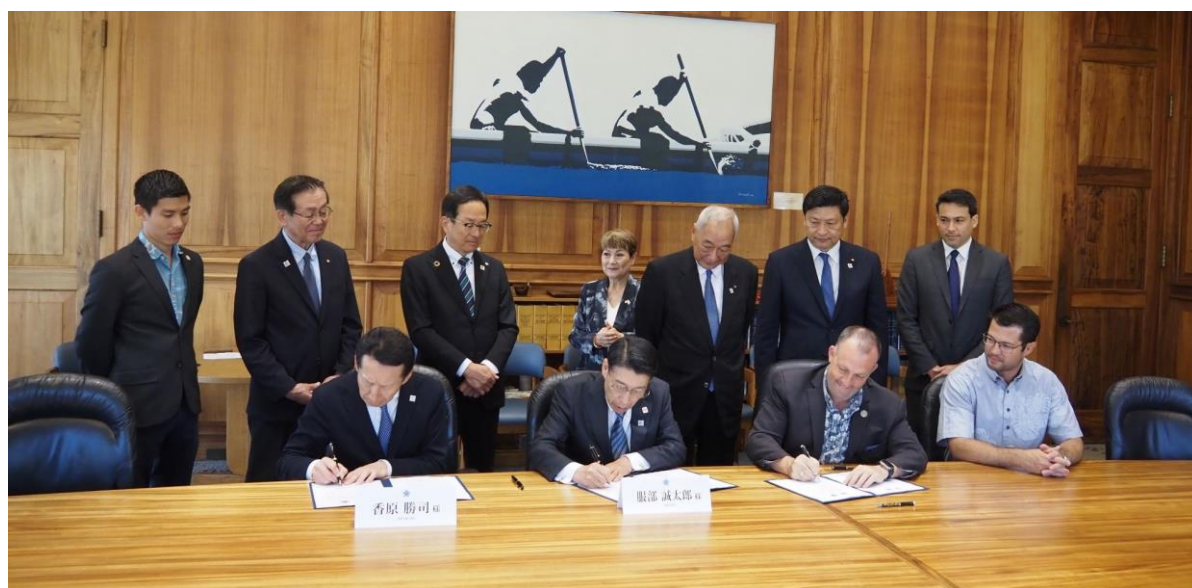
選を大変喜ばれるとともに、ワンヘルスの認知拡大について、「私たちが日本に行った時も、一緒に色々な人たちを教育し、理解を求めていきましょう。」と力強い言葉を述べられた。

また、新型コロナウイルス感染症で両地域が大きな影響を受けた経験を踏まえ、次のパンデミックへの備え、人と動物の健康、地球環境の保全、次世代への教育の重要性について認識を共有した。

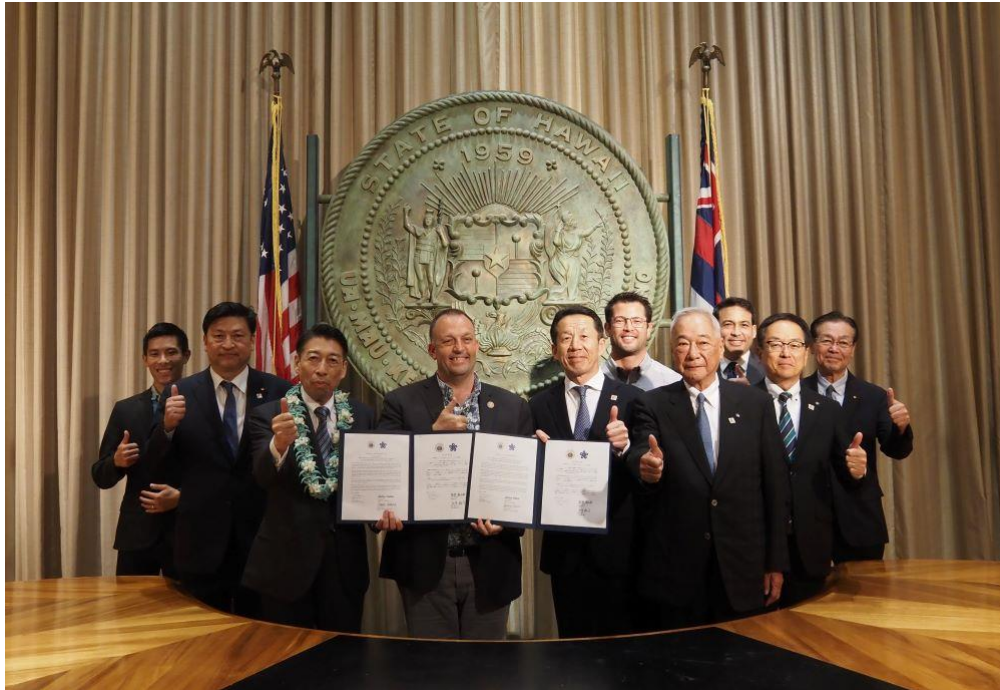
グリーン州知事は医師であり、副知事時代には新型コロナ対策にも深く関わってこられた方で、その知事からワンヘルスの理念に対する強い賛同が示されたことは、本県にとって大変意義深いものだと感じた。



(会談の様子)



(共同宣言署名の様子)



(共同宣言署名の集合写真)

○ジョシュ・グリーン州知事略歴

ニューヨーク州キングストンで生まれ、ペンシルバニア州ピッツバーグで育つ。スワースモア大学で学士号を取得し、ペンシルバニア州立大学とピッツバーグ大学で医学の研修を受けました。研修医を終えたグリーン博士は、国民健康保険隊に入隊し、2000年にハワイに駐在した。ハワイ島の地方の病院や診療所で、家庭医・救急医としてライフワークを開始した。

2004年、グリーン博士はハワイ州下院議員に当選し、2008年まで在職し、2008年から2018年までハワイ州上院議員を務めた。

2022年12月5日(月)正午に正式に就任。(11月の選挙にて当選)

在ホノルル日本国総領事との意見交換会（18：00～）

昨年9月に着任された兒玉良則在ホノルル日本国総領事を表敬訪問し、意見交換を行った。

ハワイではコロナ後、観光事業の在り方について、ハワイの伝統や歴史や文化を学んだり、自然環境の維持や修復を行うなど、サステナブルツーリズムやエコツーリズムを推進しており、兒玉総領事は、「教育の一環としてぜひ修学旅行でやっていただきたい」と述べられた。県では、人材育成プロジェクトとして高校生がハワイで短期留学研修を受けるプログラムを実施しており、秋田自民党県議団会長代理（ワンヘルス・地方分権等調査特別委員会委員長）から、「ハワイ大学でワンヘルスの講義を受けつつ、このようなプログラムを入れるのは地域密着型の交流にもなりとても良いと思う。リクエストしてみよう。」と前向きな発言がなされた。

このほか、ハワイ情勢の説明や、八女茶や有明のりなど県産食材の海外輸出などについて終始活発な議論が交わされ、大変有意義な意見交換会となった。

また、意見交換会には、県人会前会長で日系人連合協会のキース・サクダ氏にも出席していただき、兒玉総領事とともに、福岡県とハワイ州の交流促進について様々なアドバイスをいただいた。



（兒玉総領事との集合写真）

※総領事館内は、セキュリティの関係上撮影は不可だった。

○兒玉総領事略歴

1990.4 外務省入省

2005.3 在カンボジア日本国大使館一等書記官

2007.1 在カンボジア日本国大使館参事官

8 大臣官房兼アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第二課

// 大臣官房課長補佐兼内閣事務官内閣官房内閣総務官室総理大臣官邸事務
書官房副長官秘書官

2009.7 アジア大洋州局北東アジア課日韓経済室長

2011.8 経済局国際経済課欧州連合経済室長

2012.8 アジア大洋州局大洋州課長

2014.7 在マレーシア日本国大使館参事官

2016.1 在マレーシア日本国大使館公使

2017.7 在ベルギー日本国大使館公使

2020.7 東南アジア諸国連合日本政府代表部公使

2023.9 在ホノルル日本国総領事館総領事

【総括】

今回の視察を通じての県政への提案。

○ワンヘルスを福岡県の国際交流政策の柱として、より具体的に推進することである。今回の共同宣言を一過性の成果に終わらせるのではなく、今秋予定されている覚書締結を契機に、行政、大学、高校、研究機関、医療関係者が連携した実践的な事業へと発展させる必要がある。特に、県内高校生や大学生がハワイ大学等でワンヘルスを学ぶ機会を拡充し、国際的な視野を持った次世代人材の育成につなげるべきだと考える。

○総領事との意見交換では、日本からハワイへの人の流れがコロナ禍前の水準まで回復していないこと、特に学生や若者の海外志向をどう高めるかが課題であるとの指摘があった。人口減少社会にある日本において、若者が海外に目を向け、多様な価値観や国際感覚を身につけることは、地域の将来にとって極めて重要である。これまで県、県議会で繋げてきたハワイ州との交流を、若者の国際人材育成に活かすべきである。

○ハワイは、米国本土からの富裕層や長期滞在者が多く訪れる地域であり、福岡県産品の魅力を発信する上で、大きな可能性がある。八女茶、有明のり、日本酒などは単品で売り込むだけでなく、食文化や観光、体験と組み合わせて発信することが重要であり、県産品の海外展開を、ハワイを入り口として戦略的に進めていくことを提案する。

<参考>

本県とハワイ州のワンヘルスに関する連携

○ハワイ大学とのワンヘルスに関する覚書（令和5年4月21日締結）

（１） 覚書の内容

- ① ワンヘルスの推進に資する共同研究や人材育成の促進に向けた福岡県に所在する大学、研究機関とハワイ大学間の教員、研究者、学生の交流
- ② 各関係者が保有するワンヘルスの推進に資する教育・研究分野の人材及び物的資源に関する情報提供
- ③ ワンヘルスをテーマとした国際会議や国際シンポジウムの開催に関する両関係者間の協力

（２） 覚書に基づく取組

ワンヘルス教育プログラムの構成について、ハワイ大学から意見もいただきながら、県内大学におけるワンヘルス教育プログラムの導入促進に向けた取組を進めている。

○県内大学におけるワンヘルス教育プログラム（R6～7重点事業）

（１） 目的

県内の４０大学におけるワンヘルス教育の普及と研究の活性化に向けて、県内の大学がワンヘルス教育研究を推進しやすい環境を整備し、大学によるワンヘルス教育を推進する。

（２） 業務内容

- ・ 教育プログラムの基本方針、教育目標等の検討
- ・ 教育プログラムの導入促進
- ・ 大学連携会議の主催、情報収集、先進地調査
- ・ 配信授業開発のアドバイス
- ・ ワンヘルスに関連する研究者同士のマッチング

（３） 教育プログラム導入校数

令和７年度：モデル校１校

令和８年度：２校（専門（医療系）とそれ以外の大学１校ずつ）

○ハワイ州と福岡県におけるワンヘルスの取組

（１）『「福岡から世界へ」人材育成プロジェクト』

実施時期：令和５年１２月２日から９日

参加人数：１５名

目的：未来を担う高校生が海外に関心を持つ契機となるよう、短期研修プログラムを実施し、将来、世界で活躍する人材を育成する。

実施内容：ハワイの観光ビジネスでの就業体験、自然保護への取組・農業・ワンヘルスを体験

※R６についても、昨年度同様、同プロジェクトにおいて、12月頃に県内の高校生がハワイ大学でワンヘルスについて学びに行く予定

（２）ハワイ大学来福事業

実施時期：令和６年１０月２日～１０月８日

参加人数：ハワイ大学教授２名

内容：ハワイ大学の研究者２名が福岡を訪問し、ワンヘルスに関する活動を行う高校生との意見交換や複数大学で開発を検討中のワンヘルス入門科目の構成案などに関する意見、提見交換や複数大学で開発を検討中のワンヘルス入門科目の構成案などに関する意見、提案をいただく予定。

○ハワイ州との具体的な連携案

(1) ワンヘルス教育の推進や専門人材の育成

①ワンヘルスの理念を実感できる場として整備した「ワンヘルスの森」などのワンヘルスに関する施設の見学やワンヘルス教育を導入している学校の授業参観を通じて、意見交流する。

②県とハワイ大学の覚書に基づき、県内の大学や保健環境研究所などとハワイ大学に加え、ハワイ州における研究機関（州自然エネルギー研究所（※）など）が交流し、共同研究や専門人材の育成を図る。

※再生可能エネルギー、水産養殖、その他の海洋ベースの持続可能な技術など、自然エネルギーの研究開発を行う州立の専門機関。

(2) ワンヘルスに関する施策の共同推進

①ハワイの高級ホテル（例：ハレクラニ）でワンヘルス認証食材を活用した「福岡フェア」等を開催する

②海洋プラスチック問題や気候問題について、福岡県とハワイ州がそれぞれの取組を紹介、意見交換を行い、共通の課題や取組があれば共同推進する。

（本県の主な取組）

○海洋プラスチック問題

使用済みプラスチックの削減、再利用、再生利用を推進するため、「ふくおかプラごみ削減応援サイト」を開設し、事業者の取組等を紹介するほか、県民向けの啓発動画を作成するなど、行動変容を呼びかけている。

○気候変動

福岡県地球温暖化対策実行計画を策定し、脱炭素化のため、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギー設備の導入促進等に取り組んでいる。

(3) ワンヘルスをテーマとした国際シンポジウム等イベント開催への協力

①本県が実施するワンヘルス国際フォーラム等へ講演者や有識者を斡旋したり、両県州のワンヘルスに関する取組の展示や発表を行う

②本県で行っている環境啓発イベント（ふくおかプラごみ削減キャンペーン、環境啓発キャンペーンなど）を本県とハワイ州で同時期に開催し、機運を高めるキャンペーンなどを本県とハワイ州で同時期に開催し、機運を高める

福岡県・ハワイ州友好促進訪問団日程

【福岡県議会：2泊4日】

月日	時刻	視察先等
5月9日 (木)	発 21:55	羽田空港
		-----《日付変更線》-----
	着 10:20	ホノルル空港
	14:00	ハワイ州議会上院・下院表敬訪問・協議
	17:30	ハワイ大学との協議
	18:30	ハワイ福岡県人会との意見交換会 (ホノルル泊)
5月10日 (金)	10:30	パンチボウル国立太平洋記念墓地献花
	13:45	ハワイ州知事との会談
	18:00	在ホノルル総領事主催 在ホノルル日本国総領事との意見交換会 (ホノルル泊)
5月11日 (土)	発 13:50	ホノルル空港
		-----《日付変更線》----- (機中泊)
5月12日 (日)	着 17:25	羽田空港
	発 19:35	
	着 21:45	福岡空港